

---

# ソレイユ

アルト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ソレイユ

### 【Nコード】

N98750

### 【作者名】

アルト

### 【あらすじ】

ソレイユの住むメイトでは、黒髪、黒目が当たり前。

しかし、ソレイユは橙色の髪をしていた為、皆からの扱いが酷かった。

皆を見返してやると決心した矢先…

## 序話

十一月十七日午後四時三十分　メイト国　イザリー

「ソレイユ…あんたまたなんか悪さをしたのかい？」

「うるせーよ、おばさん、俺は悪くねえ。」

商店街を一人の少年が歩いていた。

年齢は十二歳。

橙色の髪と黒目をした少年だった。

ソレイユと呼ばれた少年の顔は殴られた跡でいっぱいだった。

「いつもいつも、みんな俺の髪がオレンジだからって馬鹿にしゃが  
つてー!!」

家に着くと、ソレイユは自分の部屋の枕をグーで殴った。

ポコツ！と音がすると、静かに枕はベッドから床に落ちた。

「これも全部死んだ母ちゃんのせいだ…絶対そうに違いねえ!!!」

ソレイユの母親は二十五歳という若さにして亡くなっていた。

ソレイユを産んだと同時に死んだとソレイユは聞いていた…

「母ちゃん、なんで俺を残して死んだんだ!? おかげで俺は母ちゃんのせいでみんなに馬鹿にされてんだぞ!!!」

ソレイユは自室の窓を開けると、空に向かって叫んだ。

今日は晴れており視界には青空が広がっていた。

ソレイユの母親、アリアもソレイユと同様橙色の髪をしていた。

しかし、ソレイユの住む国では大半の人が黒髪、黒目をしていた。

その髪が指すのは、この国では異国の血をひいているということであり、同時に軽蔑される対象ということでもあった。

ソレイユの父はメイト出身だが、アリアはウエスタン出身の為、息子のソレイユはアリアの血も色濃くひいていた。

ソレイユはメイト人とウエスタン人のハーフだった…

「やーい、オレンジジ！ オレンジジ!!!」

「この不良野郎が!!!」

「染めてるんじゃないの?」

「出席をとるぞ！ アルファ、エラ…」

「はい。」

「はい。」

「ソレ…ゴホンゴホン！ 間違えた、すまない…チルロ」

「はい。」

ほとんど毎日、ソレイユは自身の地毛のせいでからかわれ、あげくのはてには教師にさえ無視されるという酷い扱いようだった。

「うるせえ…俺は何も悪くねえ………」

ソレイユは小さくつぶやくと、ため息をひとつついた。

教室にソレイユの気の休まる場所はなかった。

そのせいか、日に日にソレイユはぐれていった。

「あいつ、教室の窓壊したらしいぜ………」

「マジで！？」

「いやいや、学校に私服で来るって聞いたけど…？」

「制服着てこないのかよ！？」

「もうあいつも終わりだな。」

「ここにいてるご自分間違ってるもんな。」

「髪オレンジとかありえねえよな！」

「ははは！！」

みんな好き放題いやがつて！！

…くそっ！

いつか見返してやるからな！！

ソレイユは廊下の片隅で思った。

いつか絶対みんなを見返してやる…と。

ソレイユが下校をしている途中のことだった。

「ソレイユ…だな？」

後ろから少女の声が聞こえ、名を呼ばれたソレイユは立ち止まり、振り返った。

「…あ？ なんだよ？ 見たことねえ顔だな…」

少女の顔は色白で真っ黒な髪と、瞳をしていた。

黒髪は長く腰の辺りまで伸びていた。

そして、背は高く大人びた容姿をしていた。

服装もまた真つ黒なドレスを身にまとい、自身の口元の前に扇子を広げると、

「アリアからお前を預かった。今からフェルダンに行くぞ！」

少女は高らかにそう言い放つのだった。

## 序話（後書き）

ここまで読んでくれて有難うございます（>O>）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9875o/>

---

ソレイユ

2010年11月18日15時30分発行